

6. 整備計画の実施、評価、見直し

6.1 整備計画の実施

本整備計画は、新キャンパス計画専門委員会に設けられた「地域水循環ワーキンググループ」により素案が作成され、同専門委員会並びに将来計画委員会において了承され、九州大学中期計画（年次計画）にも位置づけられているところである。計画の実施にあたっては、P（プラン）→D（実施）→C（評価）→A（修正）を基本サイクルとして、定期的な評価や計画の見直しを含めて、着実に実施していくものとする。また、諸施設の整備は毎年度の施設整備の一環として実施されるため、これと十分調整を図りながら進めることが重要である。

なお、工学系地区およびセンター地区の基本設計に続き今後作成する地区基本設計においては、当該整備計画を踏まえつつ計画間の整合を図るものとする。

6.2 整備計画の評価、見直し

整備計画の評価は、定期的に行われる九州大学中期計画の評価に合わせて行うものとし、学内のワーキンググループに加え、学外からの評価も考慮するものとする。

また、各章の維持管理の項目に示したようなモニタリング等を適切に行い、評価や今後の対応に反映させるものとする。

なお、今後計画の具体化、改善、見直し等が想定される項目は以下のとおりである。

- ・ 周辺の地下水観測を踏まえた雨水貯留浸透施設の配置、規模
- ・ 給水センターの管理体制および運用方針
- ・ 学生宿舎、ホテル等の民間利用施設、農場地区等、現在の計画に含まれない施設における給排水計画
- ・ 地下ダム等の新たな水源確保に関する検討
- ・ A地区水田圃場の利水計画
- ・ 水崎川の改修状況を踏まえた防災調整池の整備規模（IV工区）および河川改修後の調整池の扱い（I、II、III工区）

等